

未来創造志塾 6期第2回 (H1 9.4.16)

武田家の事業承継に学ぶ 成功例と失敗例

未来創造志塾 建塾の志

目的

二十一世紀、新しい時代の大転換期を生き抜くための理念や経営の哲学を共に学び合う
 経世済民の高い志を持ち、日本人としての使命を探究し、切磋琢磨し合い、未来に向けての価値を
 創造し、共感の和を広げる。

誓い

一、大局観察

何事も高所、大局から、情勢判断する習慣を心掛けます。

一、使命探究

人間の持つ無限の可能性を信じ、自らの使命を探求し、価値の創造に努めます。

一、自己挑戦

常に智恵と向上心と勇気を忘れず、共に励ましあい、立派な日本人となることを目指します。

6期テーマ 東洋思想・哲学を学び、トップ・幹部に必須な人間学を身に付ける！

賢者は歴史に学び、愚者は体験に学ぶ、先賢に学んで自分を練る

講義主題 一、東洋思想を学び、価値観を高め、人間力の向上を目指す。

二、経営の原理原則を学び、戦略の仕掛けと仕組みを学ぶ。

三、お互いに価値観を語り合うことにより、志・使命を学び合う場とする。

第6期は、東洋哲学 歴史から、現代の経営に置換え学びます。

第6期予定	日程	テーマ
第1回	3月19日(月)	「山本勘助と武田信玄」に学ぶ、トップと参謀の条件
第2回	4月16日(月)	「武田家の事業継承」に学ぶ、成功例と失敗例
第3回	5月21日(月)	「真田一族(三代)」に学ぶ、中小企業経営の生残り戦略
第4回	6月18日(月)	「織田信長の破壊と創造」根底は生まれつきの帝王学
第5回	7月9日(月)	「徳川吉宗の目指した改革」人材登用の極意
第6回	8月13日(月)	「小栗忠順」明治維新の未来を創った天才戦略家
第7回	9月11日(火)	「山田方谷と河合継之助」名宰相の生き方の違い
第8回	10月16日(火)	「クラウゼビッツ戦争論」強いリーダーの条件
第9回	11月13日(火)	「クラウゼビッツ戦争論」戦略の達人になる！
第10回	12月11日(火)	「ランチェスター弱者の法則」中小企業の経営戦略の極意
第11回	1月15日(火)	「君主論」非常の論理、悪の人心掌握術
最終回	2月19日(火)	「曹操孫子注釈」戦略・戦術策定の仕組みを学ぶ！

以上で予定しておりますが、皆様の希望があれば、内容を変えます。

場所 : 地下鉄東陽町駅前 産業会館(第1会議室)

会費 : 3000円(会員以外 都度参加メンバー)

(6期会員メンバーは、2000円、録音CD送付)

宿泊研修は別途実費(1万円予定)

「武田家の事業承継」に学ぶ

～ 戦国武将の成功例と失敗例、その問題点 ～

(1) 「武田家」崩壊の真の原因は、何だったのか？

(2) 信玄と勝頼、どちらが問題か？

～ ～ ～ その背景、環境から、信玄と勝頼の苦悩が見える！ ～ ～ ～

(3) 織田・豊臣、徳川家などの成功例・失敗例では？

「国には常強なく、常弱なし」韓非子

？ 戦国時代、最強の軍団 = 武田甲州騎馬軍団は、なぜ簡単に滅亡したのか？

「勝合戦ばかりあひたる国持（大名）は、負けて滅亡する」甲州流軍学兵法書「豹業品」

？ 無敵、常勝は、苦勞と努力の積み重ねの結果を知らず

「かまえて四郎、合戦数奇仕るべからず」信玄の勝頼への遺言

？ 目的と手段を間違うな

父と競う愚

？ 後見人の立場、信玄NO2

武田信玄 事業継承の際の3つの失敗

1. 嫡男義信との意見の差を埋められなかった真の理由とは？

2. 親族衆・譜代重臣団の重用

3. 後継者の勝頼に「諏訪」姓を名乗らせたこと

経営のヒント？ 準備することはどんなことがあったのか？

ナンバー2の存在の重要度？

武家の棟梁の家系を継承する甲斐源氏

信玄の帝王学の師は禅の高僧たち（臨済宗長禅寺岐秀元伯・恵林寺惟高妙安、快川紹喜など）

孫子四如の旗「風林火山」

火攻篇「名君名将は、つねに戦争の根本の目的を見失うことがない。だからこそかれらは慎重なのだ。有利、确实、かつ止むを得ざる場合にのみ兵を動かして戦闘をまじえる。およそ一国の君主たる者は、怒りによって兵を起こしてはならぬ。戦いの結果が利益をもたらすかどうかという客観的判断によって行動すべきである。怒りは時がたてば喜びにも変わるだろう。だが国は、亡んでしまえばそれでおしまいであり、人は死ねば生き返らないのだ」

歴史上の「事実」より、歴史を通しての「真実」を大切に！

武田家滅亡の責任は、9割信玄にあり。
後継者勝頼の最大の失敗は、強すぎる大将だった！

長篠の戦い

信長の戦略の成功	相手を知る
外部より内部崩壊	自分を知る
理性より感情が先	環境を知る

武田勝頼の運命を狂わせた難攻不落の高天神城の陥落

- ・ 家康に見捨てられた降伏を決意した小笠原長忠
- ・ 信長の援軍戦略

長篠・設楽が原の戦いの本質

- ・ 武田軍1万5千 VS 家康8千 信長3万
- ・ 長篠城にこだわった理由（城主奥平信昌）
- ・ 何故、設楽が原へ陣地を移したのか？
- ・ 騎馬軍団と3000丁の鉄砲
- ・ 信長の謀略作戦（謀反・情報攪乱）
- ・ 戦死者（武田7千～1万2千、信長家康6千人）

武田家滅亡 5つの失敗

- ・ 信玄が後継者育成に失敗した
- ・ 勝頼が実力ある古参幹部を活用しなかった
- ・ 勝頼の周りにふさわしい側近・参謀がいなかった
- ・ 勝頼が自分の意見にこだわり、部下の信頼を失う
- ・ 勝頼が真の敵と味方（北条）を間違えた

信玄の失敗	勝頼の失敗
川中島に10年	偉大な父から学ぼうとしない
自分の命の長さ	父を超えようと無理をした
後継者育成の真剣さ	敵信長との力関係を客観視できない
勝頼を代理の当主	実力古参幹部を遠ざけた
古参幹部を残した	人を見る目が無かった

歴史の真実から学ぶ戦国武将の後継学

事業承継、継がせる方と継ぐ方の7つのポイント

	継がせる方の注意点	継ぐ方の注意点
1	子供に適性なければやめる	継ぎたくなければ、継ぐな
2	早くバトンタッチする	先代から謙虚に学ぶべし
3	後継者がやりやすい環境づくり	先代の幹部に謙虚に接すべし。社史作れ
4	後継者には苦労させよ	現場で汗を流すべし
5	任せた以上、口出しするな	新たな事業で実績をつけるべし
6	信頼おけるNO2、参謀つくれ	自分の幹部、幕賓を作るべし
7	株分割するな、遺言相続対策	早く結婚、次の準備。妻を会社に入れるな
8	継がすなら会社を大きくするな	事業の見込みなければ止めるべし

創業より難しい守成

後継者養成計画

「一国は一人を以って興り、一人を以って亡ぶ」蘇老泉「管仲論」

1. 原理原則を教えてくれる師を持たせること
2. 己の出所進退を誤らないこと
3. 出来るだけ早く、後継者を組織の中枢に参画させること

例)

理想の後継教育・・・長所伸展法

織田信定 信秀 信長 信忠

理想の二代目・・・中庸「身を誠にするに道あり。善に明らかならざれば、身に誠ならず」

徳川家康 秀忠

歴代智将の出た後継者育成術

真田幸隆 昌幸 信之・信繁（幸村）

「小よく大を制す」

「名顕われざれば良策なりとも用いざれず」

トップは誰にも邪魔されない考える場所（山）が必要。

？ 山には草木が？

「わが国を亡ぼしわが家を破る大将四人まします。第一はばかなる大将、第二は利根すぎたる大将、第三は臆病なる大将、第四は強すぎたる大将なり」

馬鹿：今川氏真 利口：義信 臆病：上杉憲政 強い：勝頼